

平成30年7月豪雨災害 被災地訪問報告

(平成30年7月15日)

(文責：日本医師会地域医療課 青木)

参加者：石川広己常任理事、江澤和彦常任理事

訪問先：

岡山県：岡山県庁、倉敷市保健所（kuraDRO）、岡田小学校（真備町）

広島県：広島市安芸区畑賀福祉センター

7月15日	概要	課題・備考
7:10	統括 JMAT の兵庫県医師会チームと協議	被災地の現状、真備町の医療復旧に向けた支援、TV等での熱中症対策呼びかけ
8:55	岡山県庁を訪問。保健福祉部長、医療推進課長と協議	これまでの経緯や現状 ・県庁本部から kuraDRO への移管、倉敷市保健所との関係 ・医療チームの動向、保健師との連携、DHEATの受入 ・今後のニーズ移行（医療から保健へ） ・周囲の診療機能 ・保険診療の徹底（処方箋も災害処方箋から通常へ）
9:47	岡山県災害対策本部訪問（厚生労働省審議官）	厚生労働省の他、各省庁、自衛隊、関係機関等
10:30	倉敷地域災害保健復興連絡会議（Kurashiki Disaster Recovery Organization：略称 Ku	真備町の患者受け入れ 薬剤師会のモバイルファーマシーの活用

	<p>raDRO) を訪問、9 時からの朝のミーティングに途中参加 (日本災害医学会(ロジ)、保健関係者、日赤、AMAT, JRAT他)</p>	<p>ICT、DVTチームの明確化 JRATはJMATの下で活動(吉備医師会との下で) 吉備医師会へのkuraDROからの要員派遣</p>
10:53	<p>kuraDRO のミーティング後のJMATミーティングに参加</p> <ul style="list-style-type: none"> • 12 医療機関(うち会員2病院、9 診療所) が被災した真備町の医療復興支援(街の復興とともに): 岡山県医師会として、復興支援の音頭を取ることが最大のミッション • まび記念病院の現状、サテライト診療所の活用可否 • 大学の支援取り付け(川崎医大の他、岡山大) • 吉備医師会よりAMDAとの協働による移動診療所の提案 • 呉妹診療所の今後の復興支援 • 非医療分野の支援ニーズ: 飲む水の給水復旧など 	<p>統括JMATが司会。kuraDROから引き続き、岡山県医師会長、兵庫県医師会長、吉備医師会長、宮城県医師会常任理事、DMAT事務局次長、kuraDRO事務局長補佐(医師)、倉敷市保健所長、厚労省等も参加</p>
12:30	<p>真備地区の岡田小学校を訪問</p>	<p>診察室など</p>
15:20	<p>広島市安芸区畑賀福祉センターを訪問。安芸区社会福祉協議会長らと協議</p>	<p>被害状況、被災者の状況、近隣の安芸市民病院での住民受け入れ、JMAT派遣</p>



kuraDRO 朝のミーティング
(奥のホワイトボード付近で)



JMATミーティング

中央後方から左にかけて：石川・江澤両常任理事、兵庫県医師会長、宮城県医師会常任理事、岡山県医師会長、吉備医師会長、まきび記念病院
右から手前にかけて：統括JMAT（兵庫県医師会）、倉敷市保健所長、kuraDRO 局長補佐、DMAT事務局次長（日本災害学会）



岡田小学校に設置されたスポットエアコン



訪問先の岡田小学校の診察室（救護所）では、日赤の医師が診察中。TMA Tも参加していた。



広島市 畑賀福祉センター
左手前は、近隣の安芸市民病院スタッフ